読者の広場

投稿送り先　・郵便なら 〒151-8675　東京都代々木郵便局私書箱62号　・メールなら hensyukoe@jcp.or.jp　・FAXなら 03(3350)1904　詳しい規定は日曜日付に

労災認定して抜本的是正を

横浜市　鈴木　康功（社会保険労務士　54歳）

「過労死等防止対策推進法」が施行（2014年11月1日）され1年が経過しました。この法律は過労死等防止対策を国の責務とし地方公共団体や事業主にも努力義務を課しております。

過労自殺、うつ病など13年の「精神障害」の労災認定件数は厚労省発表で436件です。一方、協会けんぽ（主に中小企業の従業員が加入する健康保険）では「精神障害」を原因として支給した「傷病手当金」（休業4日以上の場合に支給）の件数は約2万2000件です。私はこの差の中には本来「労災認定」されるべき多くの労働者やその家族が泣き寝入りをしている現状があるのではないかと憂慮しております。

私はこの7月に閣議決定された〝過労死防止対策大綱〟に基づき国は速やかに過労死等を多角的視点から調査研究し、認定の迅速化と新たな認定基準を策定すること、国会で継続審議になっている「残業代ゼロ法案」を廃案にして長時間労働を抜本的に是正することが重要であると考えます。

不屈の先輩のたたかい学ぶ

高松市　北村志津子（64歳）

8、9日、静岡県伊東市で治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟第26回全国女性交流集会が開催され、私は初めて参加しました。

「戦争法」が強行され、再び戦争への道をつき進もうとしている今、治安維持法下で不屈にたたかった有名、無名の人々の「たたかいと抵抗の歴史」を学び、私たちの運動に生かすことが重要だと思います。

92歳でお元気な畑田重夫さん（国際政治学者）の講演で、たたかいへの情熱と勇気を発揮するためにも不断の学習が不可欠。〝学び学び、さらに学ぼう〟。この言葉が深く心に残りました。

言論や行動の自由がなかった時代、今の私たちはまだ表現と活動の自由があります。全国の明るく元気な女性パワーに励まされ、100歳を超えた犠牲者の証言に勇気をもらった大会でした。

治安維持法成立90年、同法廃止70年、侵略戦争反対に生命をかけてたたかった人々の犠牲の尊い歴史を国民に広く伝え、そして先輩たちの遺志をひきつぎ、「戦争法」反対のたたかいを続けましょう。

ふれだいこ

カレンダー日付が入ったポスターです
――島尻沖縄担当相
長野・こね焼

創価学会私が脱会したのは

京都府　福田　重男（70歳）

私はつい最近まで創価学会員でした。今回の安保法案で「平和」「福祉」の公明党に裏切られ、だまされました。安倍政権の鎖につながれた公明党に怒りを覚え、学会を退会しました。自分から共産党の友としてたたかう決意で、今は充実した日々です。

恐ろしい国になる前にくさびを打たないと未来の見えない日本に変貌する恐ろしさがあります。不幸な国にならないように共産党員と共に悔いのない行動をし、「安倍教祖」を打倒するために参議院選挙に勝利しよう。戦争法廃止の国民連合政府をつくりましょう。

野党のみなさん、国民の声に耳を傾け、国民の思いに寄り添ってください。国民が政治をする世の中で、政府が国民を支配する時代をなくそう。

現実は厳しいが、やりがいは心を熱くさせます。歴史は繰り返されるといいますが、安倍政権を倒さないと、また過去の軍国主義に逆戻りします。「戦争する国」へと安倍総理は絵に描いたように舵（かじ）を切りました。日本国にこんな恐ろしい総理が存在することが不幸です。

募集　私の3大ニュース

今年もあとわずか。恒例の「私の3大ニュース」を募集します。家族や地域、職場での印象深いことをお寄せください。

【締め切り】12月19日　450字以内。詳しい規定は日曜付に。宛先はこの欄の上段に。

なぜ遅くなった

札幌市　飯崎　圭一（59歳）

マイナンバー制度がとうとうスタートしてしまった。

定期的に通院している病院に行く日に診察カードと保険証を持ち、出掛けようとして気がついた。あれ、国民健康保険証の期限が11月30日。

こんなに遅くなったことはなかったので市役所の担当に問いただすと、「ええと、多分マイナンバー制度の簡易書留送付のために遅れている」との返事。「もしギリギリで保険証が届かない場合、また連絡ください」と付け加えた。

郵便配達の方たちの苦労は理解できますが、本末転倒じゃない？

「あさが来た」炭鉱思い出す

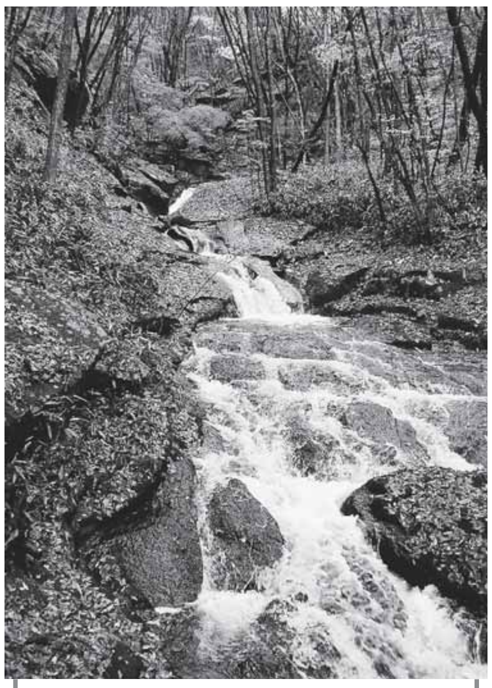
北海道・岩見沢市　長谷川信博（76歳）

NHK朝の連続テレビ小説「あさが来た」の炭坑場面を見るたびに、世界記憶遺産になった絵師・山本作兵衛（さくべえ）の炭坑を描いた作品を思い出します。「数百年後の子孫のため、明治、大正、昭和のヤマはこうだったといっておきたかったから」と残された作品の数々。

65歳まで坑内で働き、72歳で他界し、来年三十三回忌になる私の父も、ツルハシでの採炭からコールカッターなどの機械式採炭までの命がけだった炭鉱の体験をまだ幼かった私たちによく話してくれました。

ドラマの主人公あさが日本の産業に石炭の果たす役割を語っている。しかし、炭鉱労働者は、「黒ダイヤ」と称された石炭で日本の資本主義発展の貢献に値する処遇を受けてきただろうか。多くの労働者が坑内で命をおとし、遺体も家族のもとに返されず、水没・密閉などされてきた。

政府と炭鉱資本によるエネルギー革命の掛け声の下に数多くあった炭鉱も次々に閉山された。こうした思いでドラマを見ている人々も少なくなったようです。



すなぶっ　最後の紅葉を　渡辺　政廣（78）　福島・郡山市

「福島の遊歩道50選」の滝川渓谷（矢祭町）に行って、最後の紅葉を楽しんできました。

結婚から25年元気で仲良く

大阪府　大路みどり（54歳）

11月18日に銀婚式を迎えた。振り返れば山あり谷ありの25年であった。

仲間の手作り結婚式で〝2人で頑張っていきます〟と誓ったものの4カ月後、私が人間関係に疲れ果てやむなく退職。パートを転々とした。

医療の仕事で頑張っていた夫が突然難病を発症。病名を聞いた時は絶望しかけたが、幸い良いドクターにめぐり合い本来の自分を取り戻せた。しかし、職場復帰するも仲間の理解が得られず退職に追い込まれた。

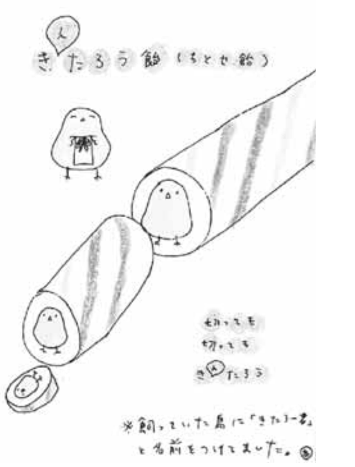
私は子宮全摘のオペ（手術）を受けることになり、子どもは望めなかった。立ちはだかる困難を乗り越えてこれたのも双方の両親、兄弟の存在があったからである。

義父母も2人の幸せな姿に安心して旅立った。両親、兄弟に感謝しつつ元気で仲良く次の一歩を歩んでゆきたい。

若こだ WAKAKODA

北海道　ゆう

おばけをもうちょっと動かしても良かったかな。寒さを感じたり、文字がおもしろかったり、小物がかわいかったり。そんなところがイイ。



京都府　考田あきこ

ポストカードのようにまとまっている。鳥や飴（あめ）の形や色がやさしくてかわいい。

愛知県　茉央（小3）

秋の王様だね。親子のような松茸だね。おいしそう。

長野県　煤綴り（自営業）

正直、パッと見たとき、こわいと思った。でも、真剣に自分に、そして誰かに問いかけている。考えさせる絵だと思う。

たかむらただのりのアドバイス
イラストレーター

こどものひと

◆浦島太郎を見て◆
3歳のちひろ、保育園で「浦島太郎」の人形劇を見たと言う。歌を歌った後、白髪の夫に「おじいちゃんは玉手箱を開けたの?」。夫はすまして「そうだよ。開けちゃったんだよ」。ちひろは「父さんはまだ開けてないから黒いんだね」。
（鈴木佳子　山梨県）

◆枯れ葉をじっと◆
6歳の孫（男）と虫眼鏡を手に散歩にでかけました。朽ちかけた枯れ葉をじっと見て「かつお節みたい」。その日のおやつはかつお節ですみました。
（浜崎豊子　66歳　愛知・愛西市）

◆三男と長男話す◆
来春小学校に入る三男と中1長男の会話。三男「ぼくなあ、ひらがな書けるようになってんで」。長男「じゃあ、お手紙を書く練習をしよう」。「おじいちゃんに書く」「そうか。まずは『おじいちゃんお元気ですか』やで」「お元気で、すいか?」。じいちゃんは3年前に亡くなりました。
（水野恵子　42歳　看護師　兵庫・姫路市）

◆50メートル走の話でね◆
運動会でお弁当を食べながら、さくら（小1）に「さくら3位だっけ?」と50メートル走の話に。「ちがうよ、6位だよ。足が遅いからぁ、おいてきぼりになっちゃうんだよ」
（山下清子　62歳　保育士　相模原市）

◆母親のことは…◆
11月で2歳になる孫（男の子）は母親のことを「カッカ」。「カッカ・チッチ」は「お母さんはトイレ」の意味。柿は「タキ」、救急車は「ウガーウガー」。
（前原かづえ　65歳　埼玉・ふじみ野市）

◆カラオケの続き◆
自宅のカラオケで「アカシアの雨がやむとき」を歌っていた時そばで聞いていた孫の勇介（4歳）。階下のキッチンに下りて行くとママに「♪このまま死んでしまいたい」。
（浜じい　65歳　東京都）

若こだイラスト　年賀状イラスト　募集

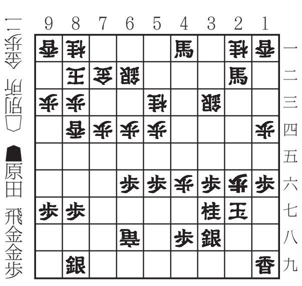
いつものイラストに加え、新春をかざる年賀状イラストも募集中。オリジナル大歓迎。アニメなどのキャラクターをかかれるときはキャラクターへの思いなども必ずかいてくださいね。はがきで。送り先　〒151・8675　東京都代々木郵便局私書箱62号

第52回赤旗名人戦　将棋・地区大会

（神奈川・横浜北東　第5譜）

先▲アマ三段　原田　知実（14歳）
△アマ初段　別所　雅通（65歳）

（指始図は△2六歩まで）



△別所　持駒　金歩三　▲原田　飛金金歩

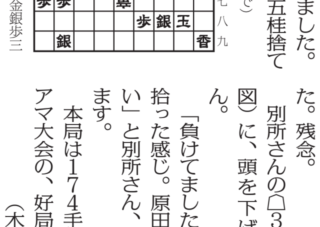
▲同玉　△2五歩
▲同桂　△2二銀
▲6一金　△2四歩
▲6二金　△2五歩
▲3五玉　△4三桂
▲2五玉　△1三桂
▲2六玉　△2五金
▲2七玉　△5七竜
▲4七歩　△3五桂
▲同歩　△3六角
▲2八玉　△6二金
▲4二飛　△2七金
▲同銀　△同角成
▲同玉　△4七竜
▲3七金　△3六金
▲1八玉　△1七銀
▲2九玉　△2八銀成
▲同玉　△3七竜
まで174手で別所さんの勝ち

熱戦終了

△2六歩（指始図）と、王手をかける別所さん。そのあと原田さんに▲6一金と迫られ、「失敗したなあ」と首をかしげます。一方、原田さんはポーカーフェースの対局。

将棋は、一手違いの終盤になりました。玉を上部に逃げる原田さん。別所さんは、懸命に玉を下段に落とします。このあたりは何やら怪しいムードでしたが、△5七竜に▲4七歩と受けた手が失敗。別所さんの勝ちになりました。△3五桂捨てから△3六角と打ち△6二金。質駒の金を取ります。この局面は先手、攻防ともに見込みがありません。

（参考図は▲3二飛まで）

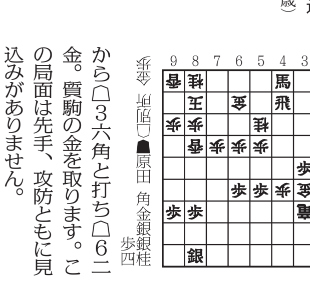


△　持駒　角歩　▲　金銀歩三

戻って、原田さんの▲4七歩が敗着になりました。正着は▲2八玉で、以下△6二金に▲3二飛（参考図）と打てば先手玉は詰まず、原田さんの逆転勝ちになるところでした。残念。

別所さんの△3七竜（投了図）に、頭を下げる原田さん。

（投了図は△3七竜まで）



△別所　持駒　金歩　▲原田　角金銀銀桂歩四

「負けてましたね。最後は拾った感じ。原田さんは、強い」と別所さん、感想を語ります。

本局は174手の大熱戦。アマ大会の、好局でした。（木屋　太二）

棋界メモ

■羽生・久保のプレーオフに―将棋・王将挑戦者

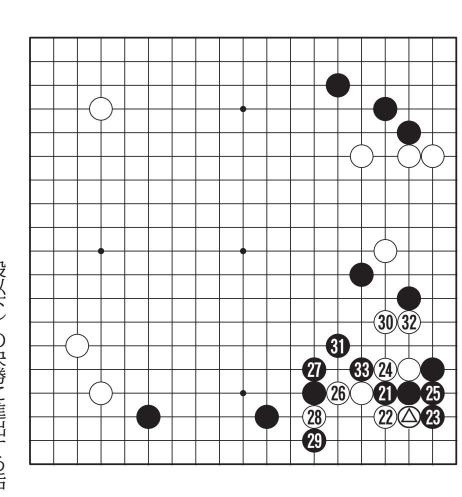
将棋の郷田真隆王将への挑戦権を懸けた第65期王将戦挑戦者決定リーグ最終局が25日に東京都渋谷区の将棋会館でおこなわれ、羽生善治名人と久保利明九段が5勝1敗で並び、挑戦者決定は両者のプレーオフに持ち込まれました。挑戦者決定戦は12月4日（金）に同所でおこなわれます。

他のリーグ結果は、糸谷哲郎竜王が4勝2敗、深浦康市九段が3勝3敗、森内俊之九段が2勝4敗、渡辺明棋王、佐藤康光九段がともに1勝5敗でした。［2015・11・28・土］

囲碁第41期新人王戦

（予選　第7局　第2譜21〜33）

黒　二段　六浦　雄太（愛知出身　16歳）
白　二段　大西　研也（千葉出身　20歳）
（各3時間持ち、△は前回最終手）



いきなり準優勝

六浦雄太二段

昨年の4月に入段した六浦は、その年に、「広島アルミ杯・若鯉戦」（30歳以下、六段以下）の決勝に進出する活躍を見せ、注目を集めた。

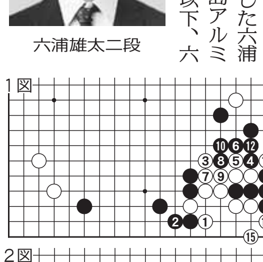
残念ながら、本木克弥三段（当時）に敗れ、優勝は逃したが「新入段の六浦初段は強い」と、東京にもうわさが流れてきた。碁を覚えた、きっかけから語ってもらった。

六浦「6歳で覚え小学1年生から羽根泰正先生のこども教室に通い始めました。4年生のとき小学生名人大会で準優勝、5年生の4月から中部総本部の院生になりました」

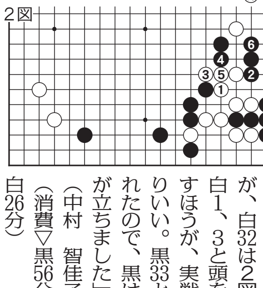
右下隅は、見たことのない変化になっている。

釼持八段「黒がマズい形でしたが、白30が疑問手。1図、白1から7が良く、これで生き形。黒8の追及には、白15まで。白aからdの筋があり、白がしゃれています。白30をとがめた、黒31が好手。ツライところですが、白32は2図の白1、3と頭を出すほうが、実戦よりいい。黒33と切れたので、黒は顔が立ちました」

（中村　智佳子）



1図



2図

（消費▽黒56分▽白26分）